

大学がもっと身近に！

地域との連携、さらに活発に

ほのぼのマイタウンエリア5市には武蔵野大学（西東京市）、日本社会事業大学・明治薬科大学（清瀬市）、津田塾大学・武蔵野美術大学・白梅学園大学・嘉悦大学・文化学園大学（今春文化女子大学から改称）（以上小平市）の8大学、また通信制の放送大学の東京多摩学習センター（小平市）があります。私たちの住む街は大変恵まれた学びの環境にあるといえましょう。これらの大学はそれぞれが専門性を持った歴史ある大学ですが、その中にはここ数年の間に改革が進み、さらに著しいのは地域との連携が深まっていることです。変わりゆく大学—今回は小平市にある白梅学園大学と嘉悦大学を取り上げてみました。

地域をつなぐ子育て支援の輪

白梅学園大学

「保育の白梅」として知られる白梅学園大学は小平市の玉川上水近く、上水公園向かいにあります。保育科の短大に加え2005年に4年制の子ども学部が創設されました。現在、同学部内に「子ども学科」「発達臨床学科」、昨年創設された「家族・地域支援学科」があり、幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、社会福祉士、保育士、介護福祉士などの資格をめざす学生たちが学んでいます。さらに2008年には大学院が開設され、子ども学の研究教育拠点としての役割を担っています。学生総数は千人余、うち男子学生は150人余です。

幼稚園、併設中学校、高等学校も擁し、建学以来「ヒューマニズム」を理念とした教育活動を続けています。地域に開かれた大学として、さまざまな形の地域連携が行われています。中でも東村山市地域福祉センター2階にある「ころころの森」は行政、市民、大学の三者協働という全国でもまれな形の運営方式による子育て支援センターで、白梅学園は東村山市からその運営を委託されています。「0歳、1歳、2歳の乳幼児の5に1人は保育園に通っていますが、あとの4人は専業主婦のお母さんが育児をしていて、地域に居場所が少ない。ころころの森には多いときで1日300人の親子が利用しています。子

育てNPOのお母さん方も運営に協力して下さって、親子の居場所づくりとして、三者協働のモデルとなっています」と話す運営責任者で同大教育・福祉研究センター長の山路憲夫教授。親子が集い、交流する広場機能だけでなく、さまざまな講座や子育て相談、子育てサポーター研修などの幅広い事業も定着しています。一方、04年度から学生と教員、地域のNPOが協力して実施する「白梅子育て広場」があり、希望する学生は学科、学年を問わず企画・運営に参加できる体制がとられています。子どもや保護者に限らず、地域の高齢者、障がいを持つ人々などさまざまな世代が参加でき、貴重な交流の場となっている



遊びを通して学生と子どもたちが楽しく交流

ます。学生にとっては異世代の人との「コミュニケーションをとることで社会性がつきまします。学生たちと触れ合うことで、子どもたちはさまざまな体験ができ、高齢者はこれまでの知恵や技術を発揮できる場となり、子育て」という共通項を通して、地域の輪が広がります。

「しらうめ・だれでもあーとさくせん」は障がいのある子どもとその家族が暮らしやすい地域づくりをめざして、ワークショップなどに取り組んでいます。子育て支援活動に関わりたい人のために昨年11月と今年2月に「こどもパートナー認証講座」が開かれました。

「少子化傾向でも子育てのニーズは高まっています。これからは高齢化の問題にどう対処していくか。白梅の特性である子どもと福祉の切り口で、社会人やリタイア後の方々が学べる場としての仕組みをつくっていききたい。そして街中に学生の手によるコミュニティカフェを実現させたい」と山路教授。



山路教授（左）と企画調整室長の仙波良太郎さん

昨年3月には附属幼稚園内に「地域

交流研究センター」が完成したことで、ますます地域への発信力が充実しました。プレイルーム兼ホールや実習室、相談室、食育研究のための厨房まで完

チャレンジする大学、学生主導の改革

嘉悦大学

備。ここを基盤にして大学と地域がどのようにつながっていくのか、今後に期待大です。

花小金井駅から徒歩約7分、嘉悦大学は百年以上の歴史を持ち、校訓は

創立者嘉悦孝が唱えた「怒るな働け」。実学教育に主眼を置き、経営経済学部の大学と大学院から成りますが、2012年4月から「ビジネス創造学部」（設置届出中）がスタート予定で2学部体制になります。加藤寛学長のもと、より実践力ある人材の育成が期待できます。

学内外へ向けてのさまざまな改革、チャレンジは嘉悦のイメージを一新させてきましたが、中でもユニークなのは、学生自身がより良い大学づくりに能動的に関わる取り組みです。



校内の風景

「ヒューマン・リソースセンター（HRC）」は学内の人材派遣センター。

09年に設立され、学生発案の企画に大学が予算をつけて事業化、学生自身が運営している活動です。例えばオープンキャンパスの学生スタッフやヘルプデスク（パソコンに関する質問対応）など、大学側が自学の学生をアルバイト

として募集する機会が多いのですが、その折窓口を一本化して、HRCが学生スタッフを各部署に紹介する業務を行っています。

授業の空き時間を利用して、学内で働くことができ、人気業務には応募者が多く、選考も厳しいとか。運営する

「オープンキャンパスに行ってみよう！」

「嘉悦らしさ」を思いっきり体感

嘉悦大学のオープンキャンパスは今年も見どころが盛りだくさん。多彩な模擬授業や学生たちが案内するキャンパスツアーに、ぜひ参加してみてください！

開催日程 6/19(日) 7/18(祝・月)、24(日) 8/7(日)、21(日)、28(日) 9/4(日)、25(日) 11/5(土)、6(日)、27(日)

*全日程13時より参加者受付 入退場自由・予約不要

*11/5(土)、6(日)は学園祭同時開催 *7月、8月に16時開始の2部もあります。

実施内容：模擬授業、個別相談、キャンパスツアー、学生生活の紹介など

問合せ ☎ 042(466)7591 (入試広報) 小平市花小金井南町 2-8-4

白梅学園大学 開催日程

6/19(日)・7/10(日) / 24(日)・8/12(金) 27日(土)・10/2(日)

いずれも13時～16時(予約不要)

◆模擬講義、在校生による体験談、キャンパスツアーなどを実施

問合せ

☎ 042(346)5618 (広報課)

小平市小川町1-830

側と応募して働くスタッフ側、双方の学生にとって、学内でのキャリア形成の場となります。

他にも「ココロキレイプロジェクト」という事業があります。このプロジェクトは学内のタバコの吸い殻やゴミを清掃し、決められたスペース内の喫煙を呼びかける活動。十数人の学生スタッフが、毎日交替で昼休みにタバコのポイ捨て本数を調査しながら清掃しています。一人の男子学生がマナー向上のために何かしたいと、立ち上げたこのプロジェクト。大学の予算で運営しているため、活動経過をレポートにまとめ報告。活動の成果もあり、キャンパスの美化は確実に向上したそうです。大学の改革・改善に自ら参加し、活動した経験は、社会に出て大変役に立つのでは。「ココロキレイプロジェクト」地域にも普及させたいものです。

地域との協働活動も年々めざましく、学生センター内に地域との窓口になる「社会連携委員会事務局」が設置されています。小平市や商工会、青年会議所、NPO団体が開催するフォーラムやセミナーがキャンパス内のカエツホール等で実施され、多くの市民が嘉悦大学に足を運んでいます。松森隆一副学長をはじめとする教授陣も企画への提言や講師として、まちづくりの核となるような役割が期待されています。近



小平ふるさと村前で「ぶるべー」とともに募金活動（写真提供 小平ブルーベリー協議会）

所の西武通り商店街秋まつりで、落語寄席（文化イベント）を地元商店会と協働開催。社協バザーや産業まつりなどの地域行事には学友会執行部企画班が参加しています。

4月2日にたけのこ公園、小平ふるさと村で開かれた小平花まつりでは、学生が市職員と協働で大震災被災地への街頭募金活動を実施して、一役買いました。

.....

白梅学園大学も嘉悦大学もマンモス大学にはない良さがあります。教職員と学生の間が近く、一緒に地域貢献していこうという気概が感じられます。私たちも公開講座やイベントなどを通して、地域にある大学をもっと活用し、身近なものにしていきたいものです。

小平市と6大学間に 連携連絡会

小平市にある6つの大学、嘉悦大学、白梅学園大学、津田塾大学、文化学園大学、武蔵野美術大学、一橋大学（小平国際キャンパスがある）と小平市では今年の1月から大学連携連絡会が開かれています。これまでは防災の分野等、市と大学間の協力関係は多数あるものの、個別に連携が実施されているところがあり、行政側は大学の資源を活用したい、大学側は学生を地域の実践の場で育てたい、という思惑が重なって、統一的な連携の窓口として市の地域文化課が事務局として取り組んでいます。

5月17日には2回目の会議が開かれ、市と大学双方にメリットがある体制づくり、市民からのニーズの発掘



大学連携連絡会 5/17の会議の様相（小平市中央公民館）

など熱のこもった話し合いが展開されました。6大学間でもそれぞれの専門研究分野がまたがっていないので、お互いの資源をうまく組み合わせながら連携していこうという機運が高まっているようです。

オープンキャンパスに行ってみよう！

他のオープンキャンパス日程連絡先

- 日本社会事業大学 ☎042(496)3080
入試広報係
- 明治薬科大学 ☎042(495)5061
- 武蔵野大学 ☎042(468)3200
- 文化学園大学 ☎042(327)8888
- 津田塾大学 ☎042(342)5113 企画広報課
- 武蔵野美術大学 ☎042(342)6038
広報入学センター

放送大学東京多摩学習センター

- オープンキャンパス（大学説明会・施設見学）
6/19（日） 7/2（土）、10（日）、17（日）
8/14（日）、21（日）
- 問合せ ☎042(349)3467
（月曜日・祝日を除く 10時～18時）
小平市学園西町1-29-1
（一橋大学小平国際キャンパス内）